

寺で始まつた小学校

「おふくろの小学校の卒業証書が出てきたんだ」と言つて見せられたのが左の証書。近くの、おふくろさんの生家から届けられたらしい。同じ逆井の農家同士、日暮から日暮への嫁入り。それも二百メートルとは離れていない。すでに、いまの土小学校のところにあつたわけだが、生家からの通学距離としては、ちよつと遠かつたか。しかし、増尾小へは酒井根などかなりの距離を通つた子どもたちが多かつた。

A photograph of a traditional Japanese cemetery. On the left, there is a large, green-roofed pavilion with a dark entrance. To the right, a tall, ornate bell tower with a green roof stands prominently. The area is surrounded by manicured greenery, including small trees and bushes, and paved walkways. The sky is overcast.



見てくれ、おふくろの卒業証書が出てきたんだ

戸張、柏、高田、松ヶ崎、篠籠田の村々が合併して出来た千代田村誌に
よれば、「暑熱、寒風の際片道一時間
余に及ぶ通学は、児童にとつて誠に苦



日暮ゆりさんは生誕105年になる

明治25年に増尾尋常高等小学校に統合

このときはすでに、増尾、名戸ケ谷、藤心、逆井等十一の村が合併し土村となつており、同校が土尋常高等小学校となるのは昭和二年のことになる。

増尾尋常高等小学校設立時の生徒数は、四年制の尋常科一三七名（うち女子三二名）、三年制の高等科五八名（うち女子六名）で、女子が少ないのは、子守に代表される役割をになつていたためとされている。

授業料はただではなかつた。尋常科は一ヶ月金十錢、高等科は一五錢を徴収している。船戸小学校では年額六円二錢という。原則として、地域住民が負担し、政府の扶助委託金は村費の一割にも満たなかつたようである。

「痛なる事なり」と言つて、いるが、増尾小の児童にとつても同じことだつたろう。
増尾、逆井の村では、明治五年に、
増尾満福寺を仮校舎として小学校が
設置された。七年には逆井觀音寺に
逆井校が出来ている。行念寺には新宿
校があり、この三校が二十五年に合併
し、寺院から離れて増尾尋常高等小
学校が誕生する。

授業料はただではなかつた。尋常科は一ヶ月金十錢、高等科は二五錢を徴收している。船戸小学校では年額六円二錢という。原則として、地域住民が負担し、政府の扶助委託金は村費の一割にも満たなかつたようである。

正定縣東高節郡
增尾尋尋小學校長飯塚新六

大正四年三月二十三日

尋常小學校ノ教科ヲ
卒業セシコトヲ證ス

卒業證書

第二期種痘完了

暮ゆリ

末広クラブ・逆井漫歩113 平成20年1月